

マルホンの

HOTでスマイル

よりよいHOTライフのための広報誌

－第30号－

子どもの在宅医療



NPO 法人生涯発達ケア
センター **さんれんぷ**
代表 中林 亜衣 様

こんにちは！伊勢崎市でNPO法人さんれんぷの代表をしております、中林と申します。「相談支援事業所ぴあ」を運営しており、私自身、相談支援専門員として障がいのあるお子さんが福祉サービスを利用する際のサービス等利用計画を作成しています。「相談支援専門員？」初めて耳にした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。いわゆる高齢者分野でのケアマネージャーさんと似たような役割、と思っていただけたら分かりやすいかと思います。自閉症、知的障害等のあるお子さんと携わることも多いですが、医療ケアを必要とし、医療と共に生活しているお子さんが最近、増えてきており、関わらせていただいています。在



上：ありし日の音々花ちゃんと

下：さんれんぷ様事務所



宅酸素療法をはじめ、人工呼吸器管理、経管栄養や胃ろう、吸引等々：「在宅医療」と聞くとしても、ご高齢の方々のイメージを持たれる方が多いかと思います。まずは、在宅医療しながら、学校へ行き、様々な経験をし、成長していく子どもたちがいることを知っていただけたらと、微力ではありますが、活動しているところなんです。未来を担っていく子どもたちが、誰でも、地域で安心して育ち、よりよく生きることのできる社会をつくっていったら、と感じています。

そんな想いのきっかけをくれたのは、亡き娘でした。マルホンさんとの出会いを作ってくれたのも、娘、「音々花（ねねか）」です。758gで小さく小さく産まれた娘は数々のアクシデントを乗り越え、2年2ヶ月、とっても頑張ってくれました。「かわいそうだったね」と娘が亡くなってから言われます。でも、それよりも「えらかったね」「がんばったね」って褒めてあげてほしいなと思います。短い人生でしたが、娘にはお友だちがたくさんいました。たくさんのお助けしてくれる人がいました。私に、母としての幸せと、これからの「役目」をくれました。母としての想いと専門職者の想いを持ち、皆様とつながり、どんな子でも「産まれてきてくれてありがとう」が当たり前前の社会にしていけたらと思います。



私は、酸素のお世話になって1年です。肺が弱いため入院の繰り返しで、娘と主人にはお世話・面倒をかけています。朝起きると背中が痛い、腰が痛いといつも不満ばかりですが、娘がすぐに湿布を、寒い日にはカイロを張ってくれる。それに酸素の器械をきれいにしてくれて感謝しています。先日にもまた入院してしまいました。たが、北毛病院の福江先生、研修医の永井先生、新里先生にはよく診察していただきました。看護師さんも皆さん親切で感謝しております。

元気な頃は、いつも旅行をしていました。日本中をかけめぐり、本当に楽しくすごしました。タバコなど1度も吸ったことのない私なんでもこんな病気になってしまったのだらうと思いました。喘息や肺炎、人工呼吸器をつけたりと、もう入院はごめんです。そのためにも酸素の力を借りて頑張ろうと強く思います。

マルホンさんにお世話になってから、『HOTでスマイル』を渡されて、それから届けてくださる日々を待ちわびて楽しみにしています。いつも隅々まで読んでいます。編集の皆さんの一言一語が朗らかでもしろくて大好きです。【日常の動作のコツ】は私にとって、大変なためになりました。最終回になったのがとても残念です。

今の時期は特に風邪をひかないように栄養の面や、よく痰を出さないと熱がでてしまうので、一生懸命努力をしています。飲み物を飲むのもつらいけれど、また春になったら美味しいものを食べたり、お花が好きなのでお花見に出かけるのを楽しみにしています。パルスオキシメーターも大切に持って出かけます。早く歩けないので、ゆっくり転ばないよう注意しています。娘が一番心配してくれてありがたいです。そのためにも元氣にならなきゃと思います。



右：ぐんまちゃんと(群馬 H29.1)

中：松江城(島根 H22.11)

左：阿寒湖(北海道 H12.5)



担当者が

探した地域情報

前橋エリア担当
岡田秀平

船津伝次平



富士見方面を車で走行中「船津伝次平のお墓」と書かれていたのが気になり、上毛カルタで名前は聞いたことのあるものの、詳しい人物像が分からなかったため今回のテーマとさせていただきます。

船津伝次平は天保3年（一八三二年）10月1日、勢多郡原之郷（現在の前橋市富士見町原之郷）に生まれ、幼名を市造といいました。特に和算は関流の皆伝を受け、俳句もたしなみ俳号を冬扇といいました。

農業を工夫研究し、実験を重ねては農業を改良進歩させ、安政5年27歳で名主となった伝次平は他村の名主たちと赤城山麓に植林し水源涵養（水源林）のために

船津伝次平の墓
前橋市富士見町原之郷 551-2



尽くしました。また明治7年太陽暦耕作一賢を作り、熊谷県より広く農家に配布しました。明治10年12月、内務卿大久保利通に見いだされた伝次平は、東京駒場農学校の教師となり、駒場野を開墾して実習地を作り、生徒たちに農学を指導しました。その後、明治18年には農商務省の巡回教師となって農業改良の任にあたり、その足跡は沖縄県を除く全国にわたったといえます。

HOTの安全情報

「冬」真っ最中!!

酸素濃縮器のお話と、お手入れのお願いです。

酸素濃縮器は、空気を取り入れ高濃度の酸素をつくる医療機器です。吸着式・PSA方式とも呼ばれ、シリンダー内に窒素を吸着する特殊なゼオライト（沸石）を入れ、加圧と減圧を繰り返すことにより空気中の酸素分を取り出します。

酸素濃縮器の「命」であるゼオライトは、室温が高いと酸素濃度が低下し、室温が低いと濃度は不安定になります。また湿気やたばこの煙・油煙に弱いいため、酸素濃縮器の設置環境には注意が必要です。特に乾燥するこの時期はホコリが多いため、お手入れをしないと空気取入口フィルターが目詰まりを起こし、コンプレッサーの冷却が不十分となり故障の原因になります。

そこでマルホンからのお願いです
一、フィルター清掃（一日一回）
二、設置環境の確認

- ・なるべく暖かい場所
 - ・ホコリの少ない場所
 - ・タバコの煙のない場所
- よろしくお願い致します。



酸素濃縮器の内部

吸着筒（窒素や水分を吸着します）
吸着筒の中はゼオライトがぎっしり

ゼオライト（拡大）



コレ

肺の病気と

上手に

つきあいましよう

監修…松井弘穂先生
(国立病院機構 東京病院 呼吸器内科)

◆感染症を予防しよう

鼻、喉、気管支、肺は、体の中でもっとも感染症を起こしやすい場所です。マスクの使用や外出後の手洗い・うがいを忘れずに。インフルエンザや肺炎球菌については、ワクチン接種による予防が効果的です。

細菌は口の中にもいます。歯磨きや入れ歯の手入れをきちんと行いましょう。肺の病気の中には、肺に菌がいて、抵抗力が低下すると感染症が悪化する場合があります。抵抗力を落とさないように、栄養をしっかりとって運動習慣を維持しましょう。



歯みがきや
入れ歯の管理も
大切です



「大陽日酸(株)カレンダー」より
許可を得て転載しています

HOT

社員紹介

すなが まさゆき
須永 昌之



血液型：B型
好きな食べ物：肉系
嫌いな食べ物：干しぶどう
欲しいもの：うまくなるゴルフクラブ

みなさん、こんにちは。

昨年5月にマルホン(在宅医療部)に入社しました。ちよつと皆さんより年齢を重ねていますが、若い社員の方々から遅れまいと毎日頑張っています。入社時には商品とボンベ種類の多さに困惑していました。先輩から指導していただいたおかげで慣れてきました。

趣味は、前橋市の早起き野球で、4月から10月のシーズン中は気分をリフレッシュしています。試合後の朝食をチームみんなで食べながら試合内容を楽しく評論するのが一番の楽しみです。仕事では社員皆さんと医療機関スタッフ、患者さんから信頼されるよう努めてまいります。

こんな私ですが、今後ともよろしくお願い致します。



編集後記

直したアラジンストーブの青い炎に毎晩癒やされています。(ささき)

世界遺産の富岡製糸工場の見学に行ってきました。建物の全体の広さと構造にはビックリしました。(すなが)

去年富士見に引っ越しをして一番感じる事は、少し標高が高くなっただけで温度差がこんなにも違うのかと、山の冬の辛さを痛感することです。(おかだ)

先日、息子が6歳になりました。2月には娘が1歳になります。お正月からお祝い続きです。(しみず)

女子会と
言って出掛ける デイケアー

起きたけど
寝るまでとくに 用もなし

つまずいて
何も無い道 振り返り

二世帯を
建てたが息子に 嫁が来ぬ

延命は
不要と書いて 医者通い

シルバー
川柳

『シルバー川柳』全国有料老人ホーム協会 ポプラ社編集部より抜粋

――バックナンバーございます。ご希望の方は担当者までお申し付けください。――

第30号

株式会社マルホン 「HOTでスマイル」 編集委員会 発行責任者 鈴木 武
平成29年2月1日発行 前橋市問屋町 2-16-11 TEL 027-210-7222